

# 心と体伊豆で癒やして

## 能登地震被災者を招待

GW三島



能登半島地震で被災した子どもたちを伊豆地区に無料で招待するNPO法人グランドワーク三島(GW三島)の「心を元気にするショートツアー」が23、25日、三島市内などで開かれている。石川県や能登町から子どもと家族43人が参加し、「富士山エコツアー」や三島の水辺散策などを楽しみ、夜は旅館で温泉に漬かり体を癒やしている。

(伊豆日新聞 北島彰浩)

少しの時間でも被災地を離れ、心落ち着ける場所で日常の時間を過ごし、心と体を休めてほしいと企画した。

川遊びでNPOメンバー(右)に水をかける子どもたち＝三島市内

東日本大震災では被災者約900人を招待した経験がある。同NPOは被災地の小中学校にチラシを配布し、参加者を募った。今回参加しているのは中学生以下の子ども27人と保護者16人。伊豆の国市のいづみ荘に

宿泊しながら2泊3日の行程を楽しんでいる。

24日は富士山周辺を巡る「富士山エコツアー」と、「せせらぎの街・三島水辺散策」を実施。水辺散策では源兵衛川で川遊びも満喫した。同NPOメンバーを追いかけて水をかける子どもたちの大きな笑い声が響いた。

珠洲市の理容師瓶子

明人さん(41)は次女(11)と参加した。地震により自宅は全壊し、現在は空き家で家族5人が暮らしているという。「被災地を離れてストレスが緩和され、大人も子どもも良い経験ができています。また地元に戻って復興を頑張ろうと思える」と語った。かつては汚れていた源兵衛川が市民らの力によってきれい

になったことを知り「みんなで力を合わせれば被災地も復興できると感じた」と話した。25日は三島商工会議所さんしんみゆうくんホールでの伝統芸能「しやぎり」を体験する。同ツアーは4、7月にも開催予定。